



## 令和4年度危険物事故防止対策論文

危険物保安技術協会

安全で快適な社会づくりに向けて危険物に係る事故の防止に役立てることを目的として、事故防止に係る提案、提言等を広く募集しておりました「令和4年度危険物事故防止対策論文」の消防庁長官賞、危険物保安技術協会理事長賞、奨励賞の著者の方々に対する表彰が、令和5年6月5日（於ニッショウホール）に執り行われました。この表彰は、危険物を取り扱う事業所における保安体制の一層の充実や、国民の皆様の危険物の保安に対する意識の向上を目的とした危険物安全週間の行事の一環として、「危険物安全大会」の中で行っております。

表彰に先立ち、前田一浩消防庁長官より式辞が有り、表彰を受けられる皆様方は、これまで危険物の保安に努めてこられた方々であり、そのご功績に対し、深く敬意を表する旨が述べられました。

また、近年危険物施設数は減少傾向にあるものの、危険物施設における事故件数は平成6年から増加傾向にあり、事故を未然に防ぐことが重要な課題となっていること、このためまず現場においてリスクを把握し、適切に操業・維持管理を行うことのできる人材を育成することが必要であり、熟練者の保安に関する知識・技術を伝承しつつ、危険物取扱者の保安講習等による教育の徹底が重要となり、また施設全体リスクアセスメントを適切に行い、企業として保安確保に向けたマネジメント体制を確保すること、定期点検や日常点検の充実を如何に担保していくことが不可欠であるとの考えであること。そして、昨今、各分野において技術革新やデジタル化が急速に進展し、危険物施設においても安全性、効率性を高める新技術の導入により効果的な予防保全を行うことなど、スマート保安の実現が期待され、その活用が求められてきていること。最後に、本日受賞されます皆様方には、引き続き危険物の保安体制の充実強化に向けて、更なるご活躍と、地域社会の安全への一層のご貢献を賜りますよう心からお願い申し上げます。

続いて行われた表彰式では、危険物事故防止対策論文の各賞の著者の方々表彰されました。つきましては、危険物の事故防止対策の参考としていただくため、各賞を受賞されました4編の論文をご紹介します。

また、当協会ウェブサイト業務説明の「危険物事故防止対策論文（<http://www.khk-syoubou.or.jp/guide/paper.html>）」には、現在までの「受賞論文」をご紹介しますので、併せてご参照ください。